2024年度　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	ビジネスマナー学		担当講師 （実務経験）	設楽　幸子 有■　無□	
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）後期（―）	時間（単位）	30（2）
概要	社会人へ踏み出すために必要なビジネスマナーの基本と就職活動へ向けての自己理解と履歴書の書き方、面接攻略のポイントを学ぶ				
テキスト等	作成した講義用テキストを配布する				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	社会へ踏み出すということ	「学生と社会人の違い」や「自立する」ということについて考え、社会へ踏み出すとはどういうことかを学ぶ
	2	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	動物医療に関わるスタッフに求められるビジネスマナーの大切さを知り、社会へ踏み出すためのビジネスマナーの基本を学ぶ
	3	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	社会へ踏み出すときにみについておきたいビジネスマナーの基本（あいさつ、表情、立ち居振る舞い）について学ぶ
	4	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	ビジネスマナーの基本（身だしなみ・言葉づかい/敬語）について学ぶ
	5	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	言葉づかい/敬語の演習問題にチャレンジ
	6	電話応対の基本	電話の受け方、かけ方を学ぶ
	7	電話応対の基本	電話の受け方、かけ方の演習問題にチャレンジ
	8	クレーム応対	受付及び電話においてのクレーム応対の基本を学ぶ
	9	クレーム応対	受付及び電話においてのクレーム応対の演習問題にチャレンジ
	10	社会人としてのコミュニケーション	良好な人間関係を築くための、話の聞き方・話し方・伝え方の基本を学ぶ
	11	社会人としてのコミュニケーション	話の聞き方・話し方・伝え方の演習問題にチャレンジ
	12	就職活動へ向けてのキャリデザイン	就職活動のためのキャリアデザインとは何か、希望の道へ進むための準備（自己理解）は何が必要かを学ぶ
	13	就職活動へ向けてのキャリデザイン	魅せる履歴書の書き方のポイントを学ぶ
	14	就職活動へ向けてのキャリデザイン	就職活動を成功させる面接攻略法を学ぶ
	15	全体授業のまとめ	振返り

2024年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物形態機能学		担当講師 (実務経験)	斉藤　聡 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の両面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解する					
テキスト等	ビジュアルで学ぶ動物看護学　第2版					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	体の基本の仕組み 1	体の成り立ち
	2	体の基本の仕組み 2	体を包むもの
	3	体の基本の仕組み 3	体を支え、動かすもの
	4	栄養を取り入れる 1	消化器系と消化酵素・食べ物の通り道
	5	栄養を取り入れる 2	消化液・吸収された栄養分の使われ方
	6	酸素を取り入れる 1	外呼吸と内呼吸・空気を体の奥に運び込む
	7	酸素を取り入れる 2	血液中を流れるもの・リンパ管
	8	酸素を取り入れる 3	心臓(血液を送り出す)
	9	老廃物の排出、異物の撃退と解毒	腎臓(老廃物の排出)・肝臓(異物の撃退と解毒)
	10	感覚器 1	視覚・聴覚・平衡感覚
	11	感覚器 2	味覚・嗅覚・皮膚感覚
	12	体内の情報伝達 1	神経の働き
	13	体内の情報伝達 2	中枢神経系・末梢神経系
	14	子どもを産み育てる 1	生殖器・乳腺・ホルモン
	15	子どもを産み育てる 2	雄、雌の生殖器

2024年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング学Ⅰ		担当講師 (実務経験)	長崎　幸恵 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(—)	時間(単位)	30(2)
概要	トリミングの目的や必要性を理解する					
テキスト等	トリミングテキストⅠ・トリミング器具					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 レポート	20%	
	授業態度	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	グルーミングとは	グルーミングの意義・目的・心構え
	2	実習器具の説明	実習器具の名称・種類・形・使用目的
	3	実習器具の保管・消毒法	実習器具の正しい手入れ、保管、消毒法
	4	トリミング実習時の身だしなみ	身だしなみのチェックポイント
	5	トリミング実習の流れ	トリミング実習の流れ、注意事項
	6	掃除・消毒	トリミング実習における衛生管理
	7	トリミング用語	トリミングにおける専門用語を知る
	8	グルーミングの手順	グルーミング実習における基本事項
	9	応急処置	応急処置の意義
	10	犬の体の基礎知識 1	犬体名称
	11	犬の心理・感覚	犬の行動を理解する
	12	犬の歯	犬の口腔内、お手入れについて
	13	犬の皮膚・被毛・毛色	皮膚・被毛の構造と生理と毛色
	14	犬の体の基礎知識 2	犬の毛色・狼指・狼爪・断耳・断尾
	15	犬種の特徴	代表的な犬種の原産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物行動学（犬学）		担当講師 （実務経験）	名取　裕憲 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）		前期（15）　後期（－）	時間（単位）	30（2）
概要	犬の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する					
テキスト等						

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物行動学の基礎 1	動物行動学の4つの問い（適応・進化・機構・発達） 行動の進化と適応、家畜化
	2	動物行動学の基礎 2	生得的行動と学習行動、脳による行動制御
	3	個体維持行動 1	摂食及び飲水行動、排泄行動
	4	個体維持行動 2	身づくろい行動、護身行動
	5	発達過程と社会行動 1	発達ステージ（新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期）と各時期の行動学的特徴、生殖活動（性行動・母性行動）
	6	発達過程と社会行動 2	コミュニケーション行動、敵対行動と親和的行動
	7	学習理論 1	行動形成、馴化と感作
	8	学習理論 2	古典的条件づけとオペラント条件づけ 学習に影響を与える因子
	9	学習理論 3	基本的なトレーニング法 （トイレトレーニング、クレートトレーニング、甘噛み対策など）
	10	問題行動 1	問題行動の定義と要因（遺伝的要因、生得的要因、環境要因）
	11	問題行動 2	攻撃行動の種類、原因（動機づけ）と治療法
	12	問題行動 3	恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法
	13	問題行動・治療 1	不適切な排泄行動の原因（動機づけ）と治療法
	14	問題行動・治療 2	高齢性認知機能不全の原因と臨床徴候、対応
	15	問題行動・治療 3	行動診療の進め方、行動修正法と環境修正法の種類と適応、行動治療における薬物療法

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物飼養管理学Ⅰ	担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　(　■前期　・　■後期　)
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10)　後期(5)　時間(単位)　30(2)
概要	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法		
テキスト等	愛玩動物飼養管理士　教本2級　第1巻　第2巻		

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	社会活動　・　動物愛護論	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的、事業 人は動物をどのように観てきたか
	2	ウサギの適正飼養について	ウサギの習性、特徴、適正飼養
	3	ハムスターの適正飼養について	ハムスターの習性、特徴、適正飼養
	4	鳥の特徴	体のつくり　・主な飼い鳥の特徴と習性　・毎日の世話と習性①
	5	動物飼養管理　2	その他哺乳類、鳥類の飼養管理
	6	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	7	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	8	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	9	動物飼養管理　1	犬と猫の飼養管理
	10	動物飼養管理　3	爬虫類の飼養管理・栄養と食事のポイント
	11	試験対策　1	模擬試験　①
	12	試験対策　2	模擬試験　②
	13	試験対策　3	模擬試験　③
	14	試験対策　4	模擬試験　④
	15	試験対策　5	模擬試験　⑤

2024年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	人と動物の関係学	担当講師（実務経験）	名取　裕憲 有■　無□
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　（　□前期　・　■後期　）

授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（—）後期（15）	時間（単位）	30（2）

概要	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。
テキスト等	講義に合わせてテキスト配布あり

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	※講義内容は変更になる場合があります。
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行	後期	講義テーマ	講義内容
	1	人間と動物の関わり 1	動物の飼養・利用の歴史
	2	人間と動物の関わり 2	欧米と日本の動物観、動物との関わりの相違
	3	人間と動物の関わり 3	動物の飼養と利用の現状
	4	人間の福祉と愛玩動物の関わり 1	動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識
	5	人間の福祉と愛玩動物の関わり 2	多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）
	6	人間の福祉と愛玩動物の関わり 3	愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情
	7	動物介在療法の活動と記録の活用	動物介在療法の活動と記録の活用・カルテ記入
	8	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 1	犬種選定、衛生管理と使用目的に沿った訓練、活動中の制御、事故防止
	9	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 2	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり
	10	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 3	動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響
	11	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 4	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容
	12	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 5	動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適正、行動学的適正
	13	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 6	当校の取り組み・体験授業-3　セラピー犬と車椅子体験
	14	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 7	当校の取り組み・体験授業-4　セラピー犬と車椅子体験
	15	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 8	学校飼育動物の目的や実態への関わり

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング学Ⅱ	担当講師（実務経験）	長崎　幸恵 有■　無□
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　（　□前期　・　■後期　）
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（－）　後期（15）　時間（単位）　30（2）
概要	ペットクリップを理解する		
テキスト等	トリミングテキストⅠ・トリミング器具		

評価方法
評価基準

評価方法	評価割合（%）
定期試験	60%
小テスト・技術力・作品 レポート	20%
授業態度	%
出席状況	20%

授業進行

	講義テーマ	講義内容
1	腹部・四肢裏クリッピング	クリッピングライン・安全なクリッパーの使用法
2	シーズーなどのペットクリップ	カットの順番・ライン・シザーの方向性
3	シーズーなどのペットクリップ	カットの順番・ライン・シザーの方向性
4	シーズーなどのペットクリップ	カットの順番・ライン・シザーの方向性
5	ヨークシャテリアのペットクリップ	全身カット・耳のトリミング
6	ヨークシャテリアのペットクリップ	全身ラッピング
7	ポメラニアンのトリミング	トリミング法・耳のトリミング
8	犬種の特徴	代表的な犬種の原産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する
9	犬種の特徴	代表的な犬種の原産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する
10	犬種の特徴	代表的な犬種の原産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する
11	イメージトレーニング	カットの順番・ライン・シザーの方向性
12	イメージトレーニング	カットの順番・ライン・シザーの方向性
13	イメージトレーニング	カットの順番・ライン・シザーの方向性
14	イメージトレーニング	カットの順番・ライン・シザーの方向性
15	イメージトレーニング	カットの順番・ライン・シザーの方向性

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	ペットエステ基礎		担当講師 (実務経験)	有壁　和 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(30)	時間(単位)	60(2)
概要	ペットエステティックに対する哲学・理念・技術の基礎を身に付ける					
テキスト等	トリミング用品・ペットエステティックテキスト(ブロンズ・シルバー)					

	評価方法	評価割合(%)
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	ペットエステ概論　1(講義)	ペットエステとは？　ヘアケア―理論　①
	2	ペットエステ概論　2(講義)	ペットエステとは？　ヘアケア―理論　②
	3	アロマバス概論(講義)	ペット用アロマソルトの特徴・使用法について
	4	タラソセラピー概論(講義)	ペット用泥パックの特徴・使用法について
	5	アロマセラピー概論(講義)	ペット用アロマ・簡易リンパマッサージについて
	6	肉球ケア概論(講義)	肉球ケア製品の目的・特徴・使用法について
	7	アロマバス基礎　1	使用法・注意点・施術法(実習)　①
	8	アロマバス基礎　2	使用法・注意点・施術法(実習)　②
	9	アロマバス基礎　3	使用法・注意点・施術法(実習)　③
	10	アロマバス基礎　4	使用法・注意点・施術法(実習)　④
	11	タラソセラピー基礎　1	使用法・注意点・施術法(実習)　①
	12	タラソセラピー基礎　2	使用法・注意点・施術法(実習)　②
	13	タラソセラピー基礎　3	使用法・注意点・施術法(実習)　③
	14	タラソセラピー基礎　4	使用法・注意点・施術法(実習)　④
	15	アロマセラピー基礎　1	使用法・注意点・施術法(実習)　①

	講義テーマ		講義内容
授業進行	16	アロマセラピー基礎　2	使用法・注意点・施術法（実習）　②
	17	アロマセラピー基礎　3	使用法・注意点・施術法（実習）　③
	18	アロマセラピー基礎　4	使用法・注意点・施術法（実習）　④
	19	アロマバス基礎　5	使用法・注意点・施術法（実習）　⑤
	20	アロマバス基礎　6	使用法・注意点・施術法（実習）　⑥
	21	アロマバス基礎　7	使用法・注意点・施術法（実習）　⑦
	22	アロマバス基礎　8	使用法・注意点・施術法（実習）　⑧
	23	タラソセラピー基礎　5	タラソセラピー基礎（実習）　⑤
	24	タラソセラピー基礎　6	タラソセラピー基礎（実習）　⑥
	25	タラソセラピー基礎　7	タラソセラピー基礎（実習）　⑦
	26	タラソセラピー基礎　8	タラソセラピー基礎（実習）　⑧
	27	アロマセラピー基礎　5	使用法・注意点・施術法（実習）　⑤
	28	アロマセラピー基礎　6	使用法・注意点・施術法（実習）　⑥
	29	アロマセラピー基礎　7	使用法・注意点・施術法（実習）　⑦
	30	アロマセラピー基礎　8	使用法・注意点・施術法（実習）　⑧

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物栄養学		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(ー)	時間(単位)	30(2)
概要	犬猫に必要な栄養を理解しペットフード給与量での栄養管理ができるような知識を学ぶ					
テキスト等	ビジュアルで学ぶ動物看護学 【第2版】					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	基礎栄養	栄養とは何か　6大栄養素・消化と吸収
	2	栄養各論①	たんぱく質・炭水化物・脂質
	3	栄養各論②	ビタミン・ミネラル・水
	4	食性の違い①	犬と猫の違い
	5	食性の違い②	嗜好性の決定・給与方法
	6	ライフステージ①	哺乳・離乳・成長期
	7	ライフステージ②	妊娠・授乳期
	8	ライフステージ③	維持期・老齢期
	9	栄養要求量①	BCS評価・要求量とは何か
	10	栄養要求量②	エネルギー要求量計算法
	11	ペットフード学①	ペットフードの概念、歴史
	12	ペットフード学②	目的別食種類・ラベル表示・ペットフード安全法
	13	ペットフード学③	特別療法食
	14	手作り食①	食べてはいけない食べ物・観葉植物
	15	手作り食②	レシピ作成・カロリー計算

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護学Ⅰ		担当講師 (実務経験)	伊藤　航 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物医療に関する知識を身につけ、動物の保定、手術の準備、入院動物の世話や健康管理などの診療補助を中心に、動物病院の受付業務や清掃、設備費品の管理などの院内業務を学ぶ					
テキスト	ビジュアルで学ぶ動物看護学 【第2版】					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※講義内容は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	日常の健康管理　1	全身の手入れ
	2	日常の健康管理　2	口腔衛生
	3	予防管理　1	犬の登録・混合ワクチン
	4	予防管理　2	イヌ糸条虫のライフサイクル、予防
	5	予防管理　3	外部寄生虫
	6	予防管理　4	内部寄生虫
	7	予防管理　5	去勢手術、避妊手術
	8	感染症　1	感染とは、消毒法と消毒薬
	9	感染症　2	代表的な感染症①
	10	感染症　3	代表的な感染症②
	11	人獣共通感染症　1	意義・定義・咬傷などによる感染症
	12	人獣共通感染症　2	日常生活に関係する感染症
	13	動物病院業務　1	動物看護とは・定義、動物看護倫理
	14	動物病院業務　2	院内における役割
	15	動物病院業務　3	受付業務・問診・カルテ

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	中山　美帆 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物医療に関する知識を身につけ、動物の保定、手術の準備、入院動物の世話や健康管理などの診療補助を中心に、動物病院の受付業務や清掃、設備費品の管理などの院内業務を学ぶ				
テキスト	コンパニオン・アニマルの看護技術学				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※講義内容は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	医薬品の基礎知識　1	医薬品・器具の取り扱い
	2	医薬品の基礎知識　2	投与方法、薬用量計算
	3	臨床検査技術実習　1	院内で行われる様々な検査
	4	臨床検査技術実習　2	全身健検査、保定法①
	5	臨床検査技術実習　3	全身健検査、保定法②
	6	臨床検査技術実習　4	全身健検査、保定法③
	7	臨床検査技術実習　5	各種器具の取り扱い
	8	臨床検査技術実習　6	糞便検査の目的
	9	臨床検査技術実習　7	検査方法①
	10	臨床検査技術実習　8	検査方法②
	11	臨床検査技術実習　9	尿検査の目的
	12	臨床検査技術実習　10	検査方法①
	13	臨床検査技術実習　11	検査方法②
	14	臨床検査技術実習　12	皮膚検査
	15	臨床検査技術実習　13	心電図・レントゲン・超音波検査

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング基礎実習	担当講師 (実務経験)	有壁　和 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科	年次学期	1年　(　■前期　□後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(120)　後期(—)	時間(単位)	240(8)
概要	トリミングの基礎を身に付ける				
テキスト等	トリミングテキストⅠトリミング実習器具				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ガイダンス　1	トリミング実習時の身だしなみ
	2	ガイダンス　2	実習器具名前つけ犬体モデル配布 ブラッシング練習
	3	ガイダンス　3	実習室の掃除と消毒法 キャリーケース消毒法
	4	ガイダンス　4	ウィッグのブラッシング シザー練習
	5	ガイダンス　5	トリミング実習前の準備 掃除の実践
	6	ガイダンス　6	ブラッシング練習 綿棒の作り方
	7	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　1
	8	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　2
	9	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　3
	10	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　4
	11	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　5
	12	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　6
	13	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　7
	14	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　8
	15	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　9

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　10
	17	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　11
	18	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　12
	19	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　13
	20	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　14
	21	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　15
	22	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　16
	23	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　17
	24	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　18
	25	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　19
	26	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　20
	27	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　21
	28	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　22
	29	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　23
	30	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　24
	31	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　25
	32	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　26
	33	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　27
	34	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　28
	35	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　29
	36	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　30
	37	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　31
	38	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　32
	39	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　33

		講義テーマ	講義内容
授業進行	40	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　34
	41	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　35
	42	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　36
	43	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　37
	44	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　38
	45	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　39
	46	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　40
	47	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　41
	48	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　42
	49	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　43
	50	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　44
	51	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　45
	52	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　46
	53	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　47
	54	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　48
	55	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　49
	56	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　50
	57	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　51
	58	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　52
	59	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　53
	60	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　54
	61	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　55
	62	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　56
	63	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　57

		講義テーマ	講義内容
	64	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　58
	65	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　59
	66	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　60
	67	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　61
	68	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　62
	69	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　63
	70	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　64
	71	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　65
	72	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　66
	73	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　67
	74	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法　68
授業進行	75	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　1
	76	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　2
	77	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　3
	78	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　4
	79	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　5
	80	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　6
	81	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　7
	82	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　8
	83	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　9
	84	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　10
	85	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　11
	86	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　12
	87	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　13

		講義テーマ	講義内容
授業進行	88	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　14
	89	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　15
	90	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　16
	91	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　17
	92	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　18
	93	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　19
	94	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　20
	95	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　21
	96	基礎実習　ステップ2	一人で行うグルーミング作業　22
	97	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　1
	98	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　2
	99	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　3
	100	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　4
	101	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　5
	102	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　6
	103	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　7
	104	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　8
	105	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　9
	106	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　10
	107	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　11
	108	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　12
	109	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　13
	110	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　14
	111	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　15

		講義テーマ	講義内容
授業進行	112	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　16
	113	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　17
	114	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　18
	115	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　19
	116	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　20
	117	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　21
	118	基礎実習　ステップ3	ボディクリッピング　22
	119	総括	全体確認　1
	120	総括	全体確認　2

2024年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング応用実習Ⅰ	担当講師 (実務経験)	有壁　和 有■　無□
対象学科	犬の美容学科	年次学期	1年　(　□前期　■後期　)

授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-)　後期(120)	時間(単位)	240(8)

概要	一人で一頭の犬の全身カットを仕上げる技術を身に着ける
テキスト等	トリミングテキストⅠ、トリミング実習器具

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　1
	2	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　2
	3	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　3
	4	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　4
	5	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　5
	6	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　6
	7	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　7
	8	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　8
	9	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　9
	10	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　10
	11	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　11
	12	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　12
	13	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　13
	14	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　14
	15	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　15

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　16
	17	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　17
	18	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　18
	19	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　19
	20	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　20
	21	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　21
	22	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット　22
	23	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１
	24	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　２
	25	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　３
	26	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　４
	27	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　５
	28	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　６
	29	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　７
	30	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　８
	31	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　９
	32	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１０
	33	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１１
	34	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１２
	35	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１３
	36	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１４
	37	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　１５

		講義テーマ	講義内容
授業進行	38	応用実習　ステップ2	時間配分 中躯のカット　16
	39	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　1
	40	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　2
	41	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　3
	42	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　4
	43	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　5
	44	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　6
	45	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　7
	46	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　8
	47	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　9
	48	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　10
	49	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　11
	50	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　12
	51	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　13
	52	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　14
	53	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　15
	54	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　16
	55	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　17
	56	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　18
	57	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　19
	58	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　20
	59	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　21
	60	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　22

		講義テーマ	講義内容
授業進行	61	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　23
	62	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　24
	63	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　25
	64	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　26
	65	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　27
	66	応用実習　ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾)　28
	67	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　1
	68	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　2
	69	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　3
	70	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　4
	71	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　5
	72	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　6
	73	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　7
	74	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　8
	75	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　9
	76	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　10
	77	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　11
	78	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法)　12
	79	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　1
	80	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　2
	81	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　3
	82	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　4
	83	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり)　5

		講義テーマ	講義内容
授業進行	84	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　6
	85	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　7
	86	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　8
	87	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　9
	88	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　10
	89	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　11
	90	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（被毛の仕上がり）　12
	91	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　1
	92	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　2
	93	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　3
	94	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　4
	95	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　5
	96	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　6
	97	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　7
	98	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　8
	99	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　9
	100	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　10
	101	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　11
	102	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（汚れる毛の処理）　12
	103	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（シンメトリー）　1
	104	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（シンメトリー）　2
	105	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（シンメトリー）　3
	106	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ（シンメトリー）　4

		講義テーマ	講義内容
授業進行	107	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　5
	108	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　6
	109	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　7
	110	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　8
	111	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　9
	112	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　10
	113	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　11
	114	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　12
	115	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　13
	116	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　14
	117	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　15
	118	応用実習　ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー)　16
	119	総括	全体確認　1
	120	総括	全体確認　2

2024年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	職場体験実習Ⅰ	担当講師（実務経験）	有壁　和 有■　無□		
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　（　□前期　・　■後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期(-)　後期(35)	時間（単位）	70(2)
教育の狙い	学校で修得した知識や技術を基に、技術者としての役割や責任を理解し、実務能力を修得する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	
	定期試験	%	実習先での評価を基に総合的に評価
	小テスト・技術力・作品	%	実習前オリエンテーションの実施
	レポート	50%	施設により実習内容は変更になる場合があります
	授業態度	30%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1 2 3 4 5 6	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）
	7 8 9 10 11 12	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）
	13 14 15 16 17 18	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）
	19 20 21 22 23 24	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）
	25 26 27 28 29 30	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）
	31 32 33 34 35	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する ペットショップを見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する １日の振返り（自宅にてレポート作成）